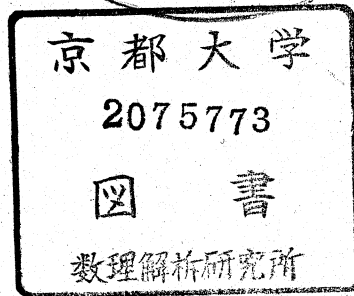
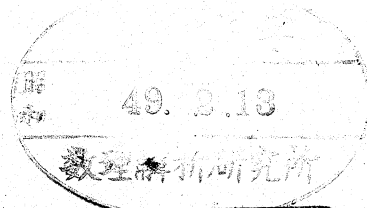


K-510

数理解析研究所講究録 197

2
46
/

統計的漸近理論 II



京都大学数理解析研究所

1974年1月

統計的漸近理論Ⅱ 研究会報告集

1973年 8月29日 ~ 8月31日

京都大学

2075773

目次

1. On a non-parametric discriminant procedure 1

阪大 基礎工

数研研光代

2. カテゴリカル正準相関分析の漸近理論.....12

阪大 基礎工

丘本 正

和歌山大 教育

遠藤 秀機

3. 一般化されたフィッシャーの情報量と漸近理論.....23

大阪市大 理

金江 哲朗

4. Nuisance parameter をもつ最尤推定の

empirical Bayes 的接近26

九大 理

大隈 彰道

5. 経験分布を基にした決定関数の一貫性.....33

統数研

野田 一雄

6. Wilcoxon two sample statistic に基づく

Hodges-Lehmann 推定量の漸近的表現について48

統数研

稲垣 宣生

7. 推定量の一貫性の order と漸近的有効性について.....60

東大 経

竹内 啓

電通大

赤平 昌文

8. 極値統計量の漸近分布と漸近速度	70
香川大 経	松縄 規
9. 統計量の (B) α 型漸近展開	80
創価大 経	池田 貞雄
香川大 経	松縄 規
10. 順序統計量を利用した最適配置について	84
東理大 理工	宮川 強
東理大 理工	小谷 孝一
11. 自己相関関数の推定量の漸近的性質	93
東工大 理	藤井 光昭
12. 2つの Wishart 行列の固有値と 固有ベクトルの漸近分布	102
広島大 理	小西 貞則
13. 共分散行列に関する検定の仮説の近傍での 漸近展開について	113
熊本大 教養	長尾 寿夫
14. 対称行列又はエルミート行列の固有根の 導関数と多変量解析への応用	123
広島大 理	杉浦 成昭